

J I T S U B O株式会社

本社住所	東京都小金井市中町2-24-16 農工大・多摩小金井ベンチャーポート304				
代表者	永野 富朗	設立年月	2005年5月	資本金	60百万円
経営理念	次世代型有機化学合成技術 Molecular Hiving®によりもたらされる新規ペプチド関連物質の開発および生産性の向上を通じて豊かで健康な社会と明るい未来の構築に貢献します。				
業務分野	ファインケミカル			東京農工大発ベンチャー企業	
連絡先	042-401-1721	HPアドレス	http://www.jitsubo.com		

事業内容のご紹介

- ・医薬品開発研究用ペプチド誘導体の受託合成・製造・販売
- ・ペプチド医薬品商業生産用合成プロトコルの開発・製造・技術移転

会社のPR

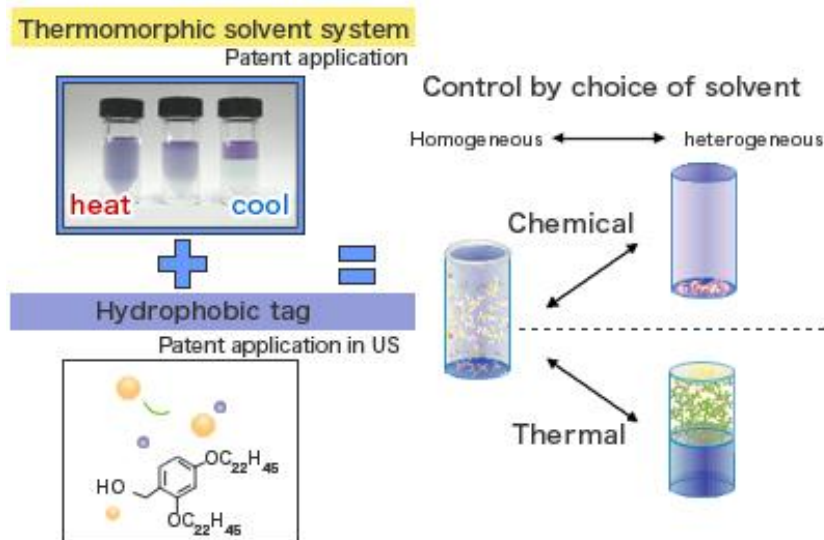
東京農工大学連合大学院千葉一裕教授の研究成果の実用化を行う東京農工大発ベンチャー企業です。弊社のプラットフォーム技術 Molecular Hiving®は、疎水性タグをペプチド合成における保護基として利用し、溶媒構成を変化させることにより、ペプチドの溶解性コントロールを実現しています。本合成技術の特徴は従来の固相法と液相法の両者の利点を併せ持った点にあります。つまり、

- ・反応性が高いので複雑な修飾が行える
- ・反応中のモニタリングを正確に行える

という液相合成法の特徴に加え、

- ・疎水性タグを利用し迅速に分離・精製できる

という固相合成法の特徴を有しています。それ故、従来の合成技術では不可能であった高度な官能基修飾を施したペプチド誘導体の合成が可能です。また、研究開発時の少量多品種誘導體合成で有効だけでなく、機能化を果たした修飾ペプチドの商業生産のためのスケールアップが容易であるという特徴があります。



これまでに薬理機能を有するペプチドを探索する技術は発展してきたものの、医薬品としての機能(安定性、や薬物動態)を最適化する術が確立していませんでした。

弊社は、ペプチドの化学修飾技術によりこのギャップを克服する事が可能です。戦略的パートナーシップの元、顧客のリード化合物を開発候補品への最適化する事業を行っております。また、革新的な生産性向上をもたらすプロセスの共同開発およびライセンス事業を通じ、パートナー企業のペプチド医薬品開発と安全な製造供給を実現していきます。

代表者のメッセージ

革新的合成技術でペプチド医薬品研究から商業化の新たな扉を開きます